



7/6

一般社団法人帯広青年会議所
鈴木信宏理事長

SDGs推進に関する連携協定締結

持続可能な社会を目指して

持続可能で多様性と包容性のある社会の実現を目指し、町は一般社団法人帯広青年会議所と協定を結びました。この協定により、両者が互いの資源を有効に活用しながら、協働して事業を推進していきます。

帯広青年会議所は2019年にSDGs実践委員会を配置し、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方の波及に取り組んできました。「ジェンダーや環境問題への理解が当たり前になることでSDGsの達成に近づく」と飯田町長。鈴木理事長は、「オール十勝で取り組み、十勝が持続可能な地域であることを発信したい」と語りました。

7/1

ホテルアルコ グランピング施設オープン
十勝の自然と食事を楽しもう

十勝ナウマン温泉ホテルアルコで、グランピング施設の営業が始まりました。グランピングとは、手ぶらで滞在することができるキャンプのこと。テントの設営や食事の準備などが不要なため、気軽にアウトドアを楽しむことができます。オプションとして、十勝の食材をふんだんに使用したBBQディナーセットを堪能したり、ビールサーバーを利用したりすることもできます。

6/28



長年の貢献に感謝状

社会教育委員退任

鈴木譲二さんが、16年2カ月務めた社会教育委員を退任されました。幕別清陵高校で書道の指導もされている鈴木さん。飯田町長は、鈴木さんの長年にわたる教育振興への貢献に感謝の意を表するとともに、「今後も末永く教育振興に尽力していただけるとありがたい」と述べました。

社会教育委員は、社会教育に関して計画の立案や調査研究を行うなど、教育委員会に助言する役割を果たしています。

6/15



忠類保育所らいおん組 お楽しみ会

夏を満喫！！

忠類保育所らいおん組でお楽しみ会が行われました。お楽しみ会は、モニュメント作りに始まり、モニュメントを囲んでの記念撮影とフォークダンス、スイカ割り、BBQ、お化け屋敷、花火など、夏のイベントが盛りだくさん。子どもらは夏の暑さを吹き飛ばすくらい、元気いっぱい楽しめました。



オリンピックコース

札内東中学校 総合的な学習の時間

修学旅行で幕別町を宣伝！～準備編～

8月末に修学旅行に出発する予定の札内東中学校3年生。現在、修学旅行先の一つである函館市の駅前などで幕別町のよさを宣伝すべく、「幕別町PR活動」として町の特産品などについて学習しています。PRは観光コース、オリンピックコース、パークゴルフコースの3コースから自分が興味のあるものを選択し、4人ほどのグループで行います。

7月12日には各コースの専門家を講師に招き、授業を受けました。その後、数日かけて「何を伝えよう？」「どのような方法で伝えよう？」とグループで話し合っ構想を練り、タブレットを使って意見をまとめたリインターネットでさらに詳しく調べたりしながら、発表の資料を作成していく生徒ら。「モール温泉を持っていけないかな(観光コース)」「実際に体験してもらえるといいよね(パークゴルフコース)」など、教室にはさまざまなアイデアが飛び交います。

さて、どのように幕別町を宣伝してきてくれるのでしょうか。



パークゴルフコース

観光コース講師
田邊隊員
(地域おこし協力隊)

6/29

令和3年度
幕別町長杯ゲート
ボール大会第39回幕別町社会
福祉協議会会長杯
ゲートボール大会

一球入魂、ゲートを狙う

各種ゲートボール大会が開催されました。7月14日の社会福祉協議会会長杯では、高橋平明会長が「社協ではお年寄りや身寄りのない方の居場所作りやつながりを大切にしています。ぜひ親睦を深めて」と挨拶。飯田町長からは「町長杯から2週間、みっちり練習されたはず」と激励を受け、プレーに臨みました。

6/28



幕別清陵高校3年生 農業体験

採って食べて学ぶ！地元ブランド

幕別清陵高校の3年生が、北王農林株式会社でニンジン種の種まきやトウモロコシの収穫を体験しました。

トウモロコシは日中の気温が40度近くにもなるビニールハウスで収穫。茹でたてを味わいました。本州産と食べ比べ、自分達が収穫したトウモロコシの味の濃さや甘さを実感。価格設定や流通についての説明を受け、「北海道・十勝のものならおいしい！安心して買える！」という商品価値の創造(ブランディング)についても理解を深めました。

大坂和雄さん 瑞宝単光章を受章

「自分たちの街は自分たちで守る」

元幕別町消防団副団長の大坂和雄さんが令和3年春の叙勲において瑞宝単光章（地域防災）を受章し、7月9日に役場応接室で叙勲伝達式が行われました。

大坂さんは昭和44年に南十勝消防事務組合忠類消防団に入団し、平成23年に東十勝消防事務組合幕別消防団分団長、平成27年に同団副団長、平成28年からは組織再編により幕別町消防団副団長と要職を歴任。平成31年3月31日に退団するまで49年11カ月もの間、地域防災の第一線で活躍し、地域住民の安全と生命、財産の保護に尽力した功績が認められ、受章に至りました。

伝達式で大坂さんは「光栄です。その一言に尽きます」と率直に喜びを語りました。また、入団して間もない頃に父が火災を起こしたことがあったといい、「負い目もあり、その責任を果たしたいと思いながらやってきた」と活動に懸けてきた思いを振り返りました。飯田町長は、「特に分団長、副団長として指揮を執ったときには、的確な指示だけでなく団員の士気を高めるのにも大きな役割を果たしてこられた」と大坂さんの功績をたたえ、「今後も団の引き締め役でいてほしい」と述べました。



小象が誕生！ @スマイルパーク

スマイルパークのフラワーガーデン前で空を仰ぐナウマン象。このナウマン象復元模型（親象）は、令和2年7月に幕別ライオンズクラブから寄贈されました。

7月7日には子象が誕生。親象を見て子象がいなかったに寂しさを感じた匿名の町民の方から、寄贈していただきました。つぶらな瞳で親象を見つめる愛らしい子象。ぜひ足を運んで見てみてくださいね。



たんじょう きろく

①型紙を作る



②発砲スチロールで造形



③削り出す



④成形



⑤FRP積層



⑥色を塗る



⑦架台取り付け



⑧設置



7/7



忠類中学校 地域学習

ゆり根のつぼみ摘みを体験

忠類中学校の3年生が、地域学習の一環でゆり根のつぼみ摘みを体験しました。ゆり根の球根部分をおいしく食べるには、つぼみを摘んで花を咲かせないようにすることが大切。生徒らはつぼみ摘み体験に先駆けて、学校でゆり根農家の大坂崇士さんから事前授業を受けました。そして後日、大坂さんの農場で摘み方を教わり、おいしいゆり根が育つよう丁寧に作業を行いました。

7/15



西岡優希さん 表敬訪問

清陵高校初、インターハイへ

幕別清陵高校1年の西岡優希さんが、7月28日から8月1日にかけて福井県で行われる陸上競技のインターハイに女子ハンマー投げで出場します。

澤田慎也校長、顧問の西山修一教諭と共に来庁し、「できる限りのことをして効率よく練習していきたい。目標は40m」と意気込みを語りました。西山教諭は「ハンマー投げは力だけでは飛ばない技術の競技。何が自分に必要か考えて練習に取り組むところも強み」と西岡さんの成長に期待しています。

7/6



妹尾スズ子さん（大正10年7月3日生まれ）

100歳おめでとうございます！

100歳を迎えた妹尾さんへ幕別町から記念品などが贈られました。昔、切り絵をしていたこともあり、日々の楽しみは紙を切り貼りして絵にすること。ご家族が施設に入所中の妹尾さんに会いに行くときは、折り紙を持って行き、喜ぶ顔を見ます。

この日、ご家族と一緒に元気にお越しいになった妹尾さん。健康の秘訣は、「お腹から声を出すこと」とのこと。これからもお元気でいてくださいね。

7/15



学校法人解散に伴い、1000万円の寄附

後期中等教育を支え続けて

令和3年3月に閉校した江陵高校を運営する学校法人多田学園から、「今後の教育振興に役立ててほしい」と1000万円の寄附金をいただきました。

同法人は江陵高校から幕別清陵高校へ学校を引き継ぐ上で、LED照明の設置など校舎の改修にも尽力。飯田町長は、介護保険制度の開始を受けた福祉科の設置など、世の中のニーズを把握し、それに応じた学校経営の実績にも触れながら、感謝を述べました。